

令和3年度 地方創生推進交付金事業の実績一覧

資料3

個別戦略	開始年度	終了年度	事業名	事業概要	R3年度/R4年度の事業概要	R3総事業費 (決算額・円)	重要業績評価指標(KPI)	R3実績 (増減分)	R3実績 (累計)	R3目標 (単年度分)	R3目標	目標の 達成/未達成	未達成であった場合、その事由
3-2	R1 (2019)	R3 (2021)	近未来技術等を活用した「AIケアシティ」形成事業	介護、健康づくり、教育、子育ての現場などに近未来技術等を活用したシステムを導入するとともに実用性を高めて社会実装を図る。	<p>-----令和3年度事業-----</p> <ul style="list-style-type: none"> ○対話型自動問合せ対応システムの運用・充実 ・これまでに対応できない質問を整備し、システムの精度の向上を図った。 ○分身ロボットを活用した院内学級等での実証研究 ・1名が延べ23回活用し、図工の時間や休み時間に級友と触れ合った。 ○AIを搭載した健康管理アプリの実証 ・健康経営に取り組む事業所協力のもと、従業員(約300名)に3か月間継続的に実証を行い、利用前後での生活習慣や健康状態等の改善効果を検証し、生活習慣の特徴や健康課題を収集した。 	3,460,465	要支援・要介護認定者数の推計値と実数との差	326人	1,078人	70人	150人	達成	
							福祉事業所において「AIを活用したケアプラン作成支援システム」により作成したケアプランの数【累計】	75件	445件	400件	1,400件	未達成	AIが提供する機能とケアマネが求める機能に乖離があるため。
							とよはし健康マイレージアプリ登録者数【累計】	2,524人	12,789人	2,000人	12,000人	達成	
							分身ロボットを活用して支援した子ども人数(年間延べ支援人数)【累計】	1人	4人	2人	5人	未達成	R2年度は3名(延べ15回)、R3年度は1名(延べ23回)の利用があったが、退院等により遠隔授業に結びつかなかったケースもあり、利用人数が伸びなかった。
2-2	R2 (2020)	R4 (2022)	地方を舞台とした映像作品から始まる関係人口の拡大と新たなふるさと創出プロジェクト(福島市と連携)	<p>「エール」放映を契機とした官民連携及び豊橋市との連携により、豊橋市のさらなる付加価値を創出し、福島市の広域連携事業を通じた地域間交流を活発化させ、他地域との触れ合いの中で互いの地域を経済・文化面などで応援する関係人口の新たなふるさと創出を目指す。</p>	<p>-----令和3年度事業-----</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ロケ地をテーマとした作曲体験イベント ・古閑裕而氏は、楽器を一切使わず五線譜のみで作曲をしていたことから、コンピュータプログラミングで音楽を制作する「コンピュータミュージック」による作曲体験イベントを実施した。 ○豊橋のロケ地動画の作成 ・ロケ地として、使用される頻度の高い施設等の動画を作成した。 ○エールオブジェの設置 ・「エール」のロケ地となった豊橋公園内に、花のステージ「エール」と調和するように郵便ポストや植栽等を備えた誘客スポットを設置した。 <p>-----令和4年度事業-----</p> <ul style="list-style-type: none"> ○豊橋市と福島市との交流事業 ・市民や若者の交流イベント(手筒花火など)、企業間の交流イベント(豊橋まつりにおいて、高校生吹奏楽によるオンライン演奏会の実施) 	9,123,000	豊橋市と福島市の観光入込客数の和	304千人	7,272千人	120千人	8,147千人	未達成	新型コロナウイルス感染症の蔓延による地域内のイベントの中止や新たな生活様式の推奨、訪日外国人の減少等が大きく影響しており、当初に対して、大幅に下回っているものの、R3年度においては、一定回復しており、単年度増加分を達成している。
							「エール」関連イベント数と福島市との交流イベント数の和	7件	37件	10件	18件	達成	
							ロケ資産となる映像作品本数	28件	54件	1件	16件	達成	
2-2 4-1	R2 (2020)	R4 (2022)	東三河「スポーツツーリズム」推進プロジェクト(愛知県、東三河8市町村と連携)	<p>「東三河スポーツツーリズム」を地域一体となって力強く推進し、スポーツを切り口に「交流人口の拡大」、周遊性・滞在性の向上による「地域産業の活性化」、地元団体・住民の主体的な参加を促し、地域全体で「おもてなしの心」を醸成し、「スポーツツーリズム」の盛んな地域づくりを目指す。</p>	<p>-----令和3年度事業-----</p> <ul style="list-style-type: none"> ○道の駅とよはしを中心としたスポーツ体験型観光 ・サイクリングと体験型コンテンツを組み合わせたイベントやレンタサイクル及び道の駅とよはしにおけるサイクルツーリズム推進のため、サイクリングに関する市場分析やニーズについて調査 ○サイクリトレインの推進 ・アウトドアスポーツ事業者の情報発信ツールを活用し、東三河地域ブランドの周知 ○サイクリストの環境整備 ・工具ステーションの設置 <p>-----令和4年度事業-----</p> <ul style="list-style-type: none"> ○道の駅とよはしを中心としたスポーツ体験型観光 サイクリングと体験型観光コンテンツを組み合わせたイベントやデジタルマップを充実させ、道の駅とよはしがサイクリングの拠点としてサイクリストへの認知を定着させる。 ○サイクリトレインの推進 ・トレッキングやランニングなど様々なスポーツの魅力を体験できるイベントを実施。 	9,533,300	東三河地域の年間観光入込客数	415千人	17,036千人	800千人	25,600千人	未達成	新型コロナウイルス感染症の蔓延による地域内のイベントの中止や新たな生活様式の推奨、訪日外国人の減少等が大きく影響している。
							東三河地域の宿泊者数	20千人	1,319千人	120千人	2,640千人	未達成	新型コロナウイルス感染症の蔓延による地域内のイベントの中止や新たな生活様式の推奨、訪日外国人の減少等が大きく影響している。
							東三河地域の道の駅の売上額	565百万円	4,050百万円	120百万円	2,640百万円	達成	
							東三河地域の観光旅行者用レンタサイクルの貸出件数	1,044件	2,847件	160件	3,520件	未達成	新型コロナウイルス感染症の蔓延による地域内のイベントの中止や新たな生活様式の推奨、訪日外国人の減少等が大きく影響しており、当初に対して、大幅に下回っているものの、R3年度においては、一定回復しており、単年度増加分を達成している。
合 計						22,116,765							